



- (2) 第43回全日本選手権大会における第3位以上の入賞者は、大会実行委員会推薦により、上記代表枠外で参加できる。但し、出場種目は前回の入賞種目に限る。
- (3) 2025年度のブロック選手権大会の各種目に優勝した者は、大会実行委員会の推薦により上記代表枠外で参加できる。  
但し、① ブロック選手権大会の優勝者が、前年度的全日本選手権大会に入賞しており、すでに出場権を保持している場合に限り、次順の選手（準優勝者）が当該大会への出場権を得ることができる。  
② 優勝者、準優勝者共に出場権を保持している場合においては、更に次順の選手（3位入賞者）が出場権を得ることができ、以下同様な扱いとする。  
③ いずれの場合も出場種目はブロック大会の入賞種目に限る。
- (4) 2026年4月7日（火）以降、登録選手の変更は認めない。
- (5) 参与を除く大会役員および運営委員の正副委員長は、本大会に選手として出場できない。

## 11. 競技方法

試合は、競技規則（2026年4月1日現在）によるほか、次の事項により実施する。

- (1) 試合は全種目トーナメント方式で行い、シニアの部は7ゲームマッチとする。
- (2) 出場選手は、直前の試合が終了した時点で速やかにコートに出場すること。その時点から5分経過しても出場しない選手は、棄権とみなすことがある。
- (3) 試合中の選手が身体の故障により試合を中断した場合は、同一試合1回限り、5分以内のタイムを認める。ただし、再度の故障による試合中断は、審判委員長と大会委員長が協議の上裁定する。
- (4) シングルス競技はシニアの部を除き「促進ルール」を適用して実施する。
  - ① シングルスゲームにおいて、試合開始後20分経過しても第3ゲームが終了していないとき、もしくは40分経過しても第6ゲームが終了していないときは、次のゲーム開始時点から促進ルールを適用する。  
(ただし、身体上の故障による中断時間は除く。)
  - ② 促進ルールが適用されたときは、各ゲームの第1ポイントのサーバーは当該ゲームで本来サービスすべきプレーヤーとし、第2ポイントと第3ポイントは第1ポイントのレシーバーがサービスを行う。以降、奇数ポイントを終わるごとにサーバーを交替する。
  - ③ 各ポイントは、レシーバーが10本の有効な返球ができた場合はレシーバー側の得点とする。
  - ④ 一旦促進ルールが適用されたら、タイブレークゲームを含めて試合終了まで促進ルールで行う。
  - ⑤ その他は、通常の競技規則通りとするが、**審判委員が不足した場合、敗者審判として主審をお願いすることがある。**

## 12. 競技用具

- (1) コートは、人工芝コートを使用する。
- (2) 用具は、全て「公益財団法人日本バウンドテニス協会」が公認したものとする。

## 13. 参加資格

各都道府県協会にて推薦された、公認審判員資格以上を有する者。

## 14. 参加料

シングルス	4,000円	(選手1名につき)
ダブルス	8,000円	(各1組につき)

但し、申込終了後は、欠場しても返金しません。

## 15. 組 合 せ

- (1) 申込締め切り後、大会実行委員会において、所定日に抽選で決める。
- (2) 前大会（第43回大会）の各種目優勝～第4位、ベスト8および各ブロック代表選手を、シード対象とする。

## 16. 表 彰

- (1) 各種目優勝～第3位まで、それぞれメダル（金、銀、銅）並びに副賞を授与する。

## 17. 参加上の注意

- (1) 競技上の事故については、主催者は応急処置のみ行い、主催者が加入する傷害保険の範囲内での補償をする。
- (2) 参加選手および観戦者は、フェアプレイ精神を尊重し、コーチング、審判への暴言、中傷は厳に慎むこと。
- (3) 参加選手は、全日本選手権大会にふさわしいスポーツウェアで出場すること。  
(街着Tシャツの着用や、タオル等でのバンダナ代用についてはご遠慮ください。)

以 上



**スポーツ振興基金**  
社団法人日本スポーツ振興センター

この大会はスポーツ振興基金の助成を受けています。